

## 市町村議会議員特別セミナー

11月4日、5日の2日間の日程で、令和7年度第2回「市町村議会議員特別セミナー」を開催し、全国各地から117人の市区町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「人口減少時代の持続可能な地域づくり」と題して、(一財)地域総合整備財団〈ふるさと財団〉理事長で元復興庁事務次官の末宗徹郎氏から、戦後80年の地域づくり政策の全体像、人口増加期の地域づくり政策の歴史、人口減少期の地域づくり政策等についてご講演いただきました。参加者からは、「地域資源を活かす政策についてのヒントが得られた」、「長い経験に基づく含蓄のある説明で大変参考になった」、「国の政策の流れや日本の状態の変化をまとめて学ぶことができた」、「東京への一極集中と地方の人口急減への対策について、いろいろな事例を聞くことができて参考になった」などの感想をいただきました。

続いて、「地域に秘めた魅力を活かし引き出す地域ブランド戦略」と題して、(一社)地方PR機構代表理事の殿村美樹氏から、そもそもブランドとは何か、地域の魅力の引き出し方、AI時代に地域の魅力を活かす方法等についてご講演いただきました。参加者からは、「戦略が非常に具体的で、まだ自治体としてやれることがあることを認識した」、「実績を多く残されているだけあり、説得力のある、とても参考になる内容だった。これからAIに対しても対策を立てておかなければならぬことがよく分かった」、「斬新な発想と実践力で成果に結びついた事業例等の紹介があり、大変参考になった」、「とても勉強になった。地域のオンリーワンを再発掘して、広い視野で自治体の未来につなげていきたい」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「自治体の災害初動対応～近年の災害対応

の事例から学ぶ～」と題して、政策研究大学院大学教授の室田哲男氏から、大災害の経験を踏まえ整備されてきた災害対策法制の経緯や、近年の豪雨災害における自治体の初動対応及び市民意識調査を踏まえた課題考察、災害時の心理特性を踏まえたリスクコミュニケーション等についてご講演いただきました。参加者からは、「自治体の災害初動対応の良し悪しが被害の程度に大きく影響することが分かった。災害初動時の心構えを肝に銘じたい」、「初動体制の重要性を改めて認識した。災害対応、災害情報は「空振りを恐れず」に行うべきと痛感した」、「災害が発生しやすい地域は早めの避難、広域避難の重要さを学んだ。避難所宿泊体験は良い取り組みだと思った」、「災害は自分事にならないとなかなか行動に移したりできないが、本日の講演を聞いてたくさんのヒントをいただくことができた」などの感想をいただきました。

最後に、「自治体と連携して公共交通を守る～網走バスの挑戦～」と題して、網走バス株式会社専務取締役の明神健太氏から、公共交通と地域交通のことばの整理や、路線バス事業の現状と課題、網走バスが取り組む「街の規模に合った公共交通」への転換事例等についてご講演いただきました。参加者からは、「公共交通という切実なテーマでいかに生き残っていくか、地域交通の定義まで踏み込んで説明いただきとても理解できた」、「事業者の立場からの話でとても興味深い内容だった。今一度、自分の街の現状を調べてみようと思った」、「地域交通の現状と課題や議員としてやるべき課題もよく分かった」、「公共交通及び地域交通について自分の自治体について考え、ふりかえることができた」などの感想をいただきました。

### 人口減少時代の持続可能な地域づくり

(一財)地域総合整備財団〈ふるさと財団〉理事長・元復興庁事務次官  
末宗 勝郎氏



### 地域に秘めた魅力を活かし引き出す地域ブランド戦略

(一社)地方PR機構代表理事  
殿村 美樹氏



### 自治体の災害初動対応～近年の災害対応の事例から学ぶ～

政策研究大学院大学教授  
室田 哲男氏



### 自治体と連携して公共交通を守る～網走バスの挑戦～

網走バス株式会社専務取締役  
明神 健太氏

